

【 パソコンユーティリティ関係 】

図形ソフトの使い方（基礎編）

・宇良田慎二 君津技能開発センター

目次

☆ はじめに

①花子を使う為に必要な機器構成

②花子の起動の方法

1. 電源オンからの起動
2. MS-DOSからの起動

③マウスの種類と使い方

1. バスマウス
2. シリアルマウス

④花子の画面と指示方法

1. マウスで行う操作
2. キーボードから行う操作
3. 各キーの役割（ファンクションキー、SHIFTキー、CTRLキー）

⑤花子に必要な環境設定

1. 図形データ保存用のフロッピーディスクの初期化
2. 機器設定
3. 入力編集設定

⑥花子による基本図形の作成

1. 直線の基本的な描き方
2. 長方形 “ ”
3. 平行四辺形 “ ”
4. 円 “ ”
5. 塗りつぶしの方法
6. 登録してある部品の呼び出し

⑦図形の編集

1. 編集範囲の指定方法について
2. コピーの方法
3. 移動
4. 削除
5. 変形
6. 拡大、縮小

⑧図形の変更

1. 線種の変更
2. 図形の形の変更

⑨ファイル管理

1. 図形、文書データの保存、読み込み

⑩文字入力

1. 花子の日本語入力システムと一太郎の関係
2. かな漢字変換に使用するキー

3. 主な入力方法

4. 文字の種類の色々
5. 実際の入力
6. 文字のコピー、移動、削除
7. 文字飾り
8. 入力後の文字の形、大きさの変更

⑪画面機能

1. 画面サイズの変更（拡大、縮小、超縮小、標準）
2. グリッドの利用

⑫印刷

1. 印刷の設定
2. 印刷の実行

図形ソフトの使い方（活用編）

・宇良田慎二 君津技能開発センター

目次

(1)花子が扱えるデータの種類	1
(2)ファンクションキーの活用	3
(3)図形の描き方と編集の練習（復習）	5
(4)部品ファイルの作成と登録	7
(5)課題1.グラフ入り報告書の作成	8
(6)課題1作成のポイント	9
(7)イメージスキャナによる図形の取り込みとイメージ編集	12
(8)花子と一太郎のデータの互換性に付いて ..	14
(9)花子による一太郎文書取り込みの実際	15
(10)課題2.フローチャートの作成	17
(11)課題3.立体棒グラフの作成	18
(12)課題4.間取図の作成	19
(13)課題2（フローチャート）作成のポイント ..	20
(14)課題3（立体棒グラフ）の描き方の一例 ..	21
(15)課題4（間取図）の描き方の一例	30

dBASE III PLUS

・遠山智之 安芸総合高等職業訓練校

目次

第1章 dBASE III PLUSの起動

- 1・dBASE III PLUSを起動する
- 2・dBASE III PLUSを終了する
- 3・dBASE III PLUSで使用するファイル

4・デフォルト・ドライブの設定	
第2章 データベースの設計	
1・データベースの設計	
2・データベースを使用するときは	
3・データベースの構造を見たいときは	
4・データベースの構造を修正するときは	
第3章 データの登録	
1・規定の設定による登録	
2・フォーマット・ファイルによる登録	
第4章 データの検索・修正	
1・レコード番号による検索	
2・インデックス・ファイルを使用した検索	
第5章 フォーマット・ファイル	
1・フォーマット・ファイルの作成	
2・フォーマット・ファイル修正	
3・フォーマット・ファイルによるデータの登録	
4・フォーマット・ファイルによるデータの修正	
第6章 プログラムの初歩	
1・登録プログラム	
2・修正プログラム	
第7章 メニューによる選択	
1・DO WHILE・T.の使い方	
2・TEXT...ENDTEXTの使い方	
3・DO CASEの使い方	
4・LOOPの使い方	
5・メニューを使ったプログラム	
第8章 アプリケーション・プログラムの完成	
1・プログラムの完成	
2・プログラムの実行	
3・デバック作業	
4・改良	
第9章 印刷	
1・レポートファイルの作成	
2・プログラムの追加	
第10章 MS - DOSの基本知識	
1・FORMAT	
2・COPY	

日本語リレーショナルデータベース(1)

・宇良田慎二 君津技能開発センター

目次

はじめに 1

第1章 データベースの基礎知識	2
・リレーショナルデータベースとは	2
・dBASE III PLUSについて	4
・dBASE III PLUSの起動と終了	4
・ " " の基本画面	7
・ " " のデータベース構造の基本	8
第2章 基本コマンドの解説と操作	9
1. SET DEFAULT TO	
(デフォルト(既定)ドライブの設定)	9
2. CREATE (新規データベースの作成)	10
3. DIR (ファイル名の一覧表示)	13
4. USE (データベースの使用宣言と終了宣言)	14
5. DISPLAY STRUCTURE	
(データベースの構造表示)	15
6. LIST STRUCTURE	
(")	15
7. LIST (データの表示法1)	16
8. GOTO (レコードポイントの移動)	24
9. DISPLAY (データの表示法2)	25
10. APPEND (データの入力)	27
11. EDIT (データの編集)	31
12. BROWSE (データの編集、修正、追加)	33
13. DELETE (データに削除マークを付ける)	35
14. RECALL (削除したデータを復活させる)	37
15. PACK (データを物理的に削除に削除)	38
<練習問題1>	39
第3章 省力化の機能の利用	41
1. ファンクションキーの利用	41
2. SET FUNCTION ~TO (ファンクションキーに登録する)	42
3. ヒストリー機能の利用	43
<練習問題2>	44
第4章 応用コマンドの解説と操作	45
1. COPY (データベースファイルのコピー)	45
2. SORT (データの並べ替え)	47
3. APPEND FROM (他のデータベースファイルからのデータの追加)	48
4. REPLACE (データの置き換え)	51
5. ZAP (全てのデータの消去)	53
6. MODIFY STRUCTURE (データベースファイル構造の変更)	55
<練習問題3>	58
7. MODIFY LABEL (ラベルフォームの作成)	59

日本語リレーショナルデータベース(2)

・宇良田慎二 君津技能開発センター

目次

はじめに

第1章 インデックスファイルの基本

- ①インデックスファイルの考え方
- ②インデックスファイルに関する基本コマンド

練習問題1

第2章 データの検索

練習問題2

第3章 プログラム作成と実行の基本

第4章 メモリー変数の利用

- ①メモリー変数の基本と種類
- ②変数へのデータ代入

練習問題3

- ③キーボードからのデータ変数への入力

練習問題4

第5章 関数の利用

練習問題5

第6章 画面への出力制御

第7章 プリンタへの出力制御

練習問題6

日本語リレーショナルデータベース(3)

・宇良田慎二 君津技能開発センター

目次

はじめに 1

第1章 プログラムの基本形 2

- 1. DO WHILE ~ ENDDO
(特定の処理の繰り返し) 2
- 2. IF ~ ENDIF (条件による分岐) 4
- 3. DO CASE ~ ENDCASE
(条件による多重分岐) 5
- 4. メニュー形式の処理 7

第2章 プログラムの知識と関連コマンド 8

- ①プログラムの一般型 8
 - 1. メインプログラムとサブプログラム 8
 - 2. メインプログラムの構成 9
 - 3. 初期設定、終了処理と関連コマンド 10

- 1. SUM (数値フィールドの合計計算) 15
- 2. AVERAGE (数値フィールドの平均計算) 16
- 3. COUNT (該当データの件数を求める) .. 17

- 4. LEN (文字列の長さを求める) 18
- 5. UPPER, LOWER
(大文字、小文字の変換) 19

- 6. LTRIM, RTRIM (余白(空白)の除去) 20

第3章 複数データベースの利用 22

第4章 プログラミング練習 28

- 1. メインプログラムの作成と実行 29
- 2. 登録プログラム 32
- 3. 訂正プログラム 35
- 3. 検索プログラム 38
- 5. 削除プログラム 41
- 6. 印刷プログラム 44

MULTIPLAN 入門

・大西政治 島根技能開発センター

目次

- 1. Multiplan を使う前に
 - 1-1 Multiplan とは 1
 - 1-2 OS (MS-DOS) とは 1
 - 1-3 Multiplan と他のソフトとの
データ互換性 2
- 2. Multiplan を使う準備
 - 2-1 使用条件(モード)の設定 3
 - 2-2 データ保存用ディスクの作成 4
- 3. Multiplan の起動と終了

3-1 Multiplanの起動	5	1・ワークシートの起動法	4
3-2 " の終了	5	2・セルポインタの動かし方	4
4. Multiplan 2.0入門		3・ファンクションキーの使い方	4
4-1 初期画面とセルポインタ	6	4・データの入力	5
4-2 セルとスクロール	8	5・データの修正	5
4-3 解説コマンド (H/解説コマンド)	9	6・電卓的な入力方法	5
5. 基本的な操作		7・文字の入力	6
5-1 データの入力	10	8・セル幅の変更	6
5-2 画面の消去	12	9・セル内容の消去	8
6. Multiplan で表を作成		10・計算式の入力	8
6-1 項目名の入力 (A/文字コマンド)	13	11・計算式のコピー	9
6-2 数値の入力 (V/数式コマンド)	14	12・和を計算する関数	9
6-3 合計の求め方	14	13・関数式のコピー	10
6-4 数式の複写 (C/複写コマンド)	15	14・罫線を引く	11
☆SUM関数		15・印刷の準備	12
6-5 シートの保管と読み込み (T/転送コマンド)	17	16・印刷	13
6-6 罫線の引き方	20	17・ワークシートの保存	13
6-7 名前の利用 (N/名前コマンド)	22	18・本当に保存されたか?	13
7. 基本テクニック		19・ワークシートの終了	13
7-1 表を見やすく修正 (F/書式コマンド)	24	付 録 画面を見やすい色にする	14
7-2 挿入と削除 (I/挿入コマンド、 D/削除コマンド)	29		
7-3 表の印刷 (P/印刷コマンド)	31		
7-4 データの並び替え (S/並替コマンド)	33		
7-5 窓分割 (W/窓コマンド)	35		
8. Multiplan の応用			
8-1 ワークシートの連結・演算 (X/連結コマンド)	37		
8-2 論理演算関数	40		
9. コマンド一覧	49		

ロータス1-2-3

・静岡技能開発センター

目次

1-2-3を始める前に	1
第1章 起動と終了	2
1・起動法	2
2・終了するとき	2
3・再起動	2
第2章 環境設定	
第3章 ワークシート	4